

メモリーカードを使用する

本機は、市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC<マルチメディアカード>)を使用することにより、記録用のメモリーを拡張することができます。また、内蔵フラッシュメモリーからメモリーカードに、またはメモリーカードから内蔵フラッシュメモリーにファイルをコピーすることもできます。



- ファイルが記録されるメモリーは、次のように自動的に切り替わります。

メモリーカードを
入れていないときは → 内蔵メモリーに
記録されます。

メモリーカードを
入れているときは → メモリーカードに
記録されます。

- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーを使用することはできません。

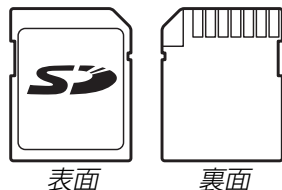
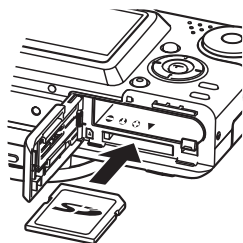
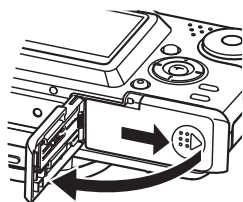
- 重要!**
- メモリーカードは必ずSDメモリーカードまたはMMC (マルチメディアカード)を使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保証できません。また、動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオホームページ(<http://www.casio.co.jp/>)をご覧ください。
 - メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
 - カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。
 - SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
 - 静電気、電氣的ノイズ等により記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、MOディスク、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

メモリーカードを使う

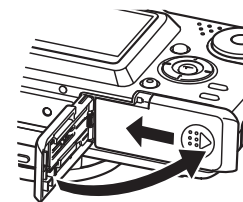
- 重要!**
- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
 - カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。

メモリーカードを入れる

1. 本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。
2. メモリーカードの表面を上(【液晶モニター】側)にして、【メモリーカード挿入口】にカチッと音がするまでしっかり押し込みます。

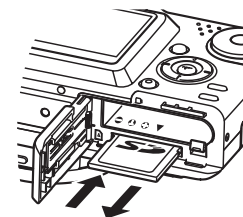


3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。



メモリーカードを取り出す

1. メモリーカードを押すと、メモリーカードが少し出てきます。
2. メモリーカードを引き抜きます。



- 重要!**
- 故障の原因となりますので、【メモリーカード挿入口】にはメモリーカード以外のものを入れないでください。
 - 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡ください。
 - 緑色の【動作確認用ランプ】が点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像がメモリーカードに記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

- 重要!**
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。
 - メモリーカードをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
 - ファイルデータにメモリープロテクト(139ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。
2. 電源を入れ、RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
3. “設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押します。

- フォーマットが完了すると、PLAYモードの場合は“ファイルがありません”と表示されます。
- フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

メモリーカードのご注意

- 万一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマット操作で復帰できますが、外出先などでこの操作を行えない場合に備えて複数枚のメモリーカードを持たれることをおすすめします。
- 異常と思われる画像を撮影したり、新たにメモリーカードをご購入された場合は、一度フォーマット(初期化)してお使いいただくことをおすすめします。
- SDメモリーカードは撮影/消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてきますので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- フォーマット操作を行うときは、充電式電池をフル充電状態にしてから行ってください。フォーマット中に電源が切れると正しくフォーマットが行われず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

ファイルをコピーする

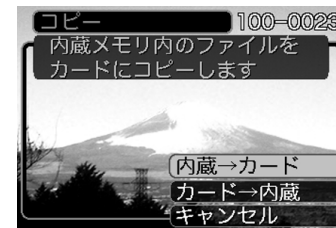
内蔵フラッシュメモリーとメモリーカードの間で、ファイルをコピーすることができます。

- 重要!**
- コピーできるのはカメラで撮影した静止画、動画、音声付き静止画、ボイスレコードファイルだけです。その他のファイルはコピーできませんので、ご注意ください。
 - お気に入りフォルダに登録されているファイルは、コピーできません。
 - 音声付き画像は画像ファイルと音声ファイルの両方をコピーします。

内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする

ファイルのコピーは、一括で行われます。

1. 本機にメモリーカードを入れます。
2. 電源を入れ、PLAYモードにして【MENU】を押します。
3. “再生機能”タブ→“コピー”と選び、【▶】を押します。



4. 【▲】【▼】で“内蔵→カード”を選び、【SET】を押します。
 - コピーが始まり、“処理中です しばらくお待ちください”と表示されます。
 - コピーが終わると、コピーしたフォルダの一番最後にあるファイルを表示します。

メモリーカードから内蔵メモリーにファイルをコピーする

ファイルのコピーは画像を確認しながら、1枚ずつ行います。

1. 「内蔵メモリーからメモリーカードにファイルをコピーする」の手順1～3と同じ操作を行います。
2. 【▲】【▼】で“カード→内蔵”を選び、【SET】を押します。
3. 【◀】【▶】でコピーしたいファイルを選びます。
4. 【▲】【▼】で“コピー”を選び、【SET】を押します。
 - コピーが始まり、“処理中です しばらくお待ちください”と表示されます。
 - コピーが終わると、コピー前に表示していたファイルに戻ります。
 - 手順3～4を繰り返して、他の画像をコピーすることができます。
5. 【MENU】を押して、コピーの操作を終了します。

参考 • ファイルは内蔵メモリー内の一番大きい番号のフォルダにコピーされます。

プリント(印刷)する

プリント(印刷)するには

デジタルカメラで撮影した画像は、さまざまな方法でプリント(印刷)することができます。プリント方法は大きく分けて下記の3つになります。ご使用されている環境にあわせてプリントしてください。

■ お店でプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントを依頼することができます。

→「DPOF 機能について」(159ページ)

■ カードスロット付/デジタルカメラ接続対応プリンタでプリントする場合

DPOF 機能を利用することで、希望の画像を希望の枚数でプリントすることができます。また、PictBridgeまたはUSB DIRECT - PRINT に対応しているプリンタでは、カメラを直接プリンタに接続してプリントすることができます。

→「DPOF 機能について」(159ページ)

→「PictBridge/USB DIRECT - PRINT について」(161ページ)

■ パソコンソフトを使用してプリントする場合

Windows では、パソコンにカメラを接続して(166ページ)、付属のソフト(Photo LoaderとPhotohands)をインストール(189ページ)することで、画像の取り込み、管理、プリントをすることができます。

→「パソコンでファイルを見る」(166ページ)

→「ソフトをインストールする」(189ページ)

重要! • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧ください。操作手順に従ってください。

Macintosh では、パソコンにカメラを接続して(172ページ)、付属のソフト(Photo Loader)をインストール(189ページ)することで、画像の取り込み、管理ができます。ただし、プリントはできません。市販のプリント用ソフトをご利用ください。

→「パソコンでファイルを見る」(166ページ)

→「ソフトをインストールする」(189ページ)

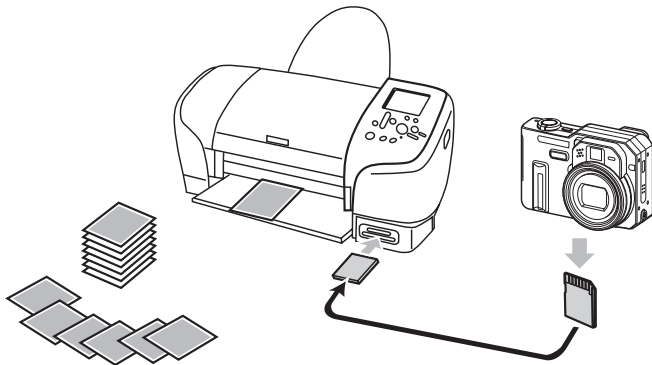
重要! • パソコンの接続方法、ソフトのインストール方法については上記のページをご覧ください。操作手順に従ってください。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンタやサービスラボでプリントすることができます。本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。



- 設定可能な内容
画像／枚数／日付



1 画像単位で印刷設定する

1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、【▶】を押します。





3. 【▲】【▼】で“選択画像”を選び、【▶】を押します。
4. 【◀】【▶】で印刷したい画像を表示させます。



5. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。
 - 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

プリント(印刷)する

6. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押してを表示させます。

- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押してを消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4～6を繰り返してください。



7. 【SET】を押します。

- 印刷する枚数が設定されます。

全画像に印刷設定する



1. PLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“全画像”を選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。



5. 日付を印刷したい場合は、【DISP】を押してを表示させます。

- は日付印刷が設定されたことを表します。
- 日付が不要なときは、【DISP】を押してを消してください。

6. 【SET】を押します。

- 印刷する枚数が設定されます。

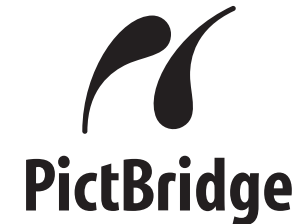
- 重要!**
- お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOFでプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、設定された内容(画像、枚数、日付)が反映されず、すべての画像が印刷されたり、日付が印刷されなかったりしてしまうことがあります。
 - プリントをするお店によってはDPOF機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
 - プリンタによっては日付の設定が無効になったり、DPOFに対応していない場合がありますので、プリンタの取扱説明書に従って操作してください。

PictBridge/USB DIRECT - PRINTについて

本製品はPictBridgeまたは、USB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニター上で写真選択や印刷開始を指示することができます。DPOF機能(159ページ)で指定した画像も印刷することができます。

本製品は下記の規格に対応しています。

- PictBridge(ピクトブリッジ) :
カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。
- USB DIRECT - PRINT :
セイコーエプソン株式会社提唱の規格です。



- 重要!**
- PictBridge/USB DIRECT-PRINTで印刷する場合、別売のACアダプター(AD-C40)を使用することをおすすめします。

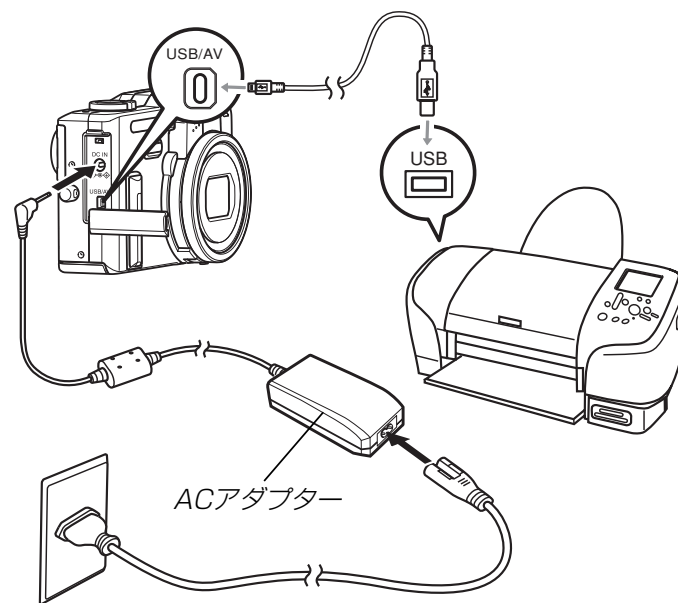
1枚ずつプリントする

1. **【MENU】**を押します。
2. “設定”タブ→“USB”と選び、**【▶】**を押します。
3. **【▲】【▼】**で使用するプリンタにあわせて設定を選び、**【SET】**を押します。

- Mass Storage (USB DIRECT - PRINT) :
ご使用のプリンタがUSB DIRECT - PRINT対応の場合、こちらを選びます。パソコンにカメラを外部記憶装置として認識させる方法です。通常、パソコンへの画像の保存の操作時はこちらを選んでください。
- PTP (PictBridge) :
ご使用のプリンタがPictBridge対応の場合、こちらを選びます。画像データを外部接続機器に簡単に転送するための接続方法です。

4. 別売のACアダプターをカメラに接続して、カメラに電源を供給します。

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。
- USBケーブルからは電源は供給されません。



5. カメラに付属のUSBケーブルでカメラとプリンタを接続します。

6. プリンタの電源を入れます。

7. プリンタの印刷用紙をセットします。

8. カメラの【電源ボタン】を押します。

- カメラにプリントメニュー画面が表示されます。



9. 【▲】【▼】で“用紙サイズ”を選び、【▶】を押します。

10. 【▲】【▼】でプリントする用紙サイズを選び、【SET】を押します。

- 用紙サイズは次の通りです。
L判、2L判、はがき、A4、Letter、プリンタで設定
- “プリンタで設定”を選ぶと、プリンタ側で設定した用紙サイズでプリントされます。
- 用紙について設定できる内容は、接続したプリンタによって異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

11. 【▲】【▼】で“1枚プリント”を選び、【SET】を押します。

- 【◀】【▶】でプリントしたい画像が選べます。
- 【DISP】を押すことで日付設定の入／切を切り替えることができます。☑を表示させると、日付がプリントされます。



12. 【▲】【▼】で“プリント”を選び、【SET】を押します。

- プリントを開始すると“処理中です しばらくお待ちください”と【液晶モニター】に表示されます。しばらくすると表示が消えますが、印刷は終了していません。カメラの何かボタンを押すことで、プリントの状況を【液晶モニター】に再表示させることができます。
- プリントが終了すると、プリントメニュー画面が表示されます。
- もう一度印刷する場合は、手順11から同様の操作を行ってください。

13. 印刷が終了したらカメラの電源を切り、カメラをUSBケーブルから取りはずしてください。

まとめてプリントする

1. DPOF 機能(159ページ)で、印刷したい画像をあらかじめ指定します。
2. 「1枚ずつプリントする」(162ページ)の手順1から10まで操作します。
3. 【▲】【▼】で“DPOF”を選び、【SET】を押します。
4. 【▲】【▼】で“プリント”を選び、【SET】を押します。
 - プリントを開始すると“処理中です しばらくお待ちください”と【液晶モニター】に表示されます。しばらくすると表示が消えますが、印刷は終了していません。カメラの何かボタンを押すことで、プリントの状況を【液晶モニター】に再表示させることができます。
 - プリントが終了すると、プリントメニュー画面が表示されます。
 - DPOF機能で指定した画像が自動的に印刷されます。
 - もう一度印刷する場合は、手順3から同様の操作を行ってください。
 - DPOFの設定をしていない場合はメッセージが表示され、DPOFの設定画面(159ページ)が表示されます。このときは、DPOFの設定を行ってから、もう一度プリントの操作を行ってください。

5. 印刷が終了したらカメラの電源を切り、カメラをUSBケーブルから取りはずしてください。

プリントについてのご注意

- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- PictBridgeやUSB DIRECT-PRINT対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、プリンタメーカーへお問い合わせください。
- 印刷中はケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。プリンタがエラーを起すことがあります。

PRINT Image MatchingⅢについて

本製品はPRINT Image MatchingⅢに対応しています。PRINT Image MatchingⅢ対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。



PRINT Image Matching及びPRINT Image MatchingⅢに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

Exif Printについて

Exif Print (Exif2.2) は、対応プリンタをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。



重要! • Exif Print対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、各プリンタメーカーへお問い合わせください。

パソコンでファイルを見る

このカメラは、USBケーブルを介してUSB端子を備えたパソコンと接続して、パソコンでファイルを見たり、保存することができます。USB接続を行うには、使用するパソコンによっては付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)からUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。

お持ちのパソコンがWindowsの場合

パソコンにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

1. Windows98/Me/2000を使っている場合はUSBドライバをパソコンにインストールする。
 - 初めて使用するときだけが必要です。
 - Windows XPの場合はインストールの必要はありません。



2. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する。



3. 画像ファイルを見る／コピーする。

具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

- 重要!**
- パソコンと通信を行う際、電池残量の少ない電池で本機を使用しますと、画像データを通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には、専用ACアダプター(別売品)を使用することをおすすめします。
 - 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

USBドライバをインストールする前に、カメラをパソコンに接続しないでください。パソコンがカメラを認識しなくなります。

- Windows 98/Me/2000をお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。この場合、インストール前にカメラをパソコンに接続しないでください。
- Windows XPをお使いの場合は、USBドライバのインストールは不要です。

1. Windows98/Me/2000をお使いの場合は、操作2へ進んでください。WindowsXPをご使用の場合は、USBドライバをインストールする必要はありませんので、操作6に進んでください。

- この操作手順はWindows98をもとに制作されています。

2. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

- 日本語のMENU画面がパソコンに表示されます。
- MENU上の「English」をクリックすると英語のMENU画面が表示され、英語版のソフトをインストールすることができますが、通常は日本語版のソフトのみをインストールしてください。

3. 「USB driver」の「インストール」をクリックします。

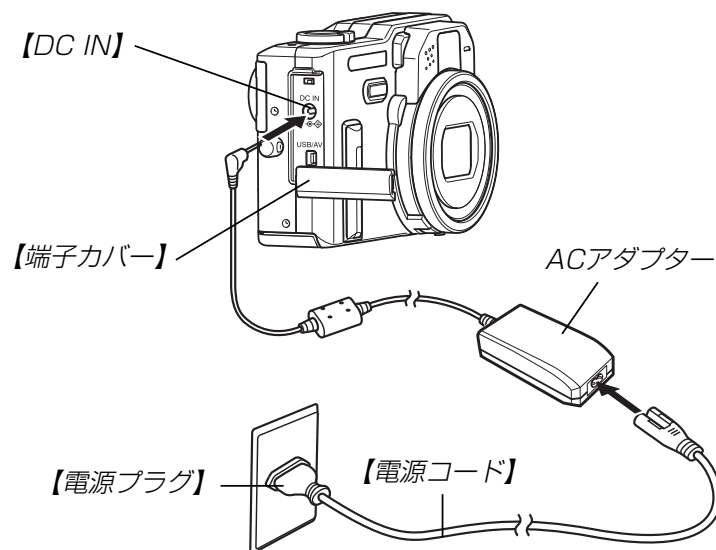
- インストールが開始されます。

4. セットアップ完了の画面が表示されたら「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をチェックして「完了」をクリックし、パソコンを再起動させます。

- 再起動時には、付属のCD-ROMをパソコンにセットしたままにしておいてください。

5. 別売のACアダプター(AD-C40)をカメラの【DC IN】と家庭用コンセントに接続します。

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。



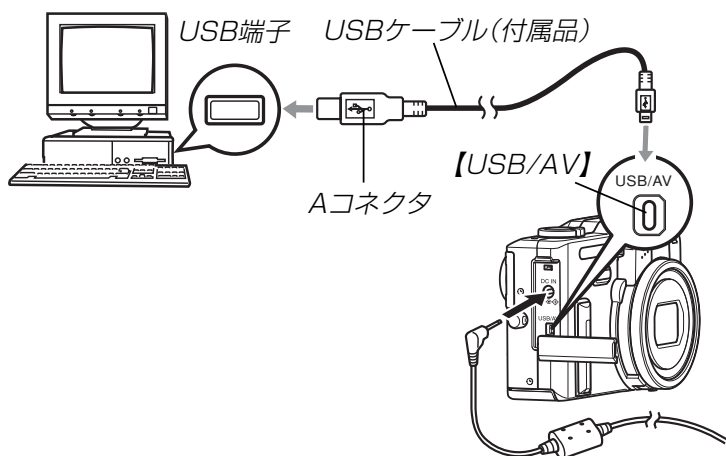
6. カメラの電源を入れます。

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

7. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押します。

8. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押します。

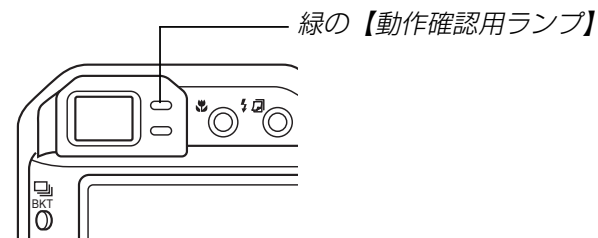
9. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラの【USB/AV】(USB/AV端子)とパソコンのUSB端子を接続します。



- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

10. カメラの電源を入れます。

- 「新しいハードウェア…」とダイアログが表示され、自動的にカメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーが認識されます。次回からはパソコンとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを認識します。
- カメラの緑の【動作確認用ランプ】が点灯します(198ページ)。



- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブルディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。

11. 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

- Windows XPでは、画面上の「スタート」→「マイコンピュータ」の順でクリックします。



Windows 98



Windows XP

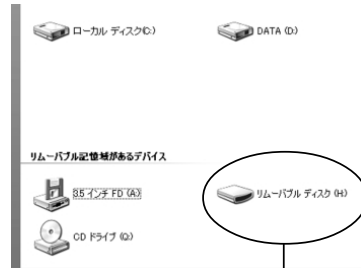
12. 「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

Windows 98



リムーバブルディスク

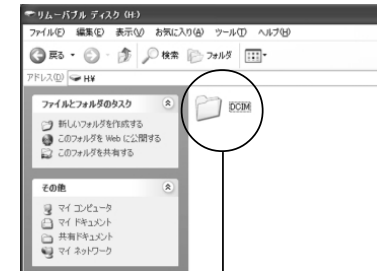
Windows XP

13. 「Dcim」フォルダをダブルクリックします。



Dcim

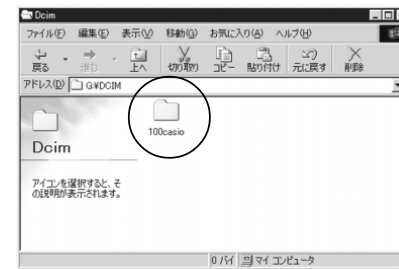
Windows 98



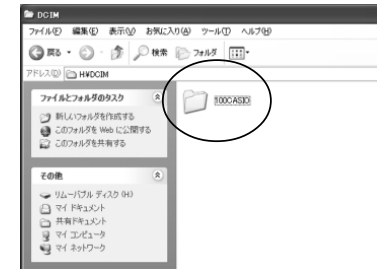
Dcim

Windows XP

14. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックします。



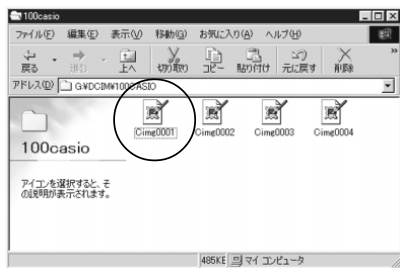
Windows 98



Windows XP

パソコンでファイルを見る

15. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ます。



Windows 98



Windows XP

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(178ページ)を参照ください。

参考 • 回転表示させた画像を「リムーバブルディスク」から見たりコピーした場合は、回転させる前の画像が表示されます(130ページ)。

16. ファイルを保存する場合は、次のように操作します。

■Windows 98/2000/Meの場合：

- ①「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを右ボタンでクリックします。
- ②メニューの「コピー」をクリックします。
- ③「マイドキュメント」をダブルクリックして開きます。
- ④「マイドキュメント」のメニューで「編集」→「貼り付け」の順でクリックします。
－これで「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

■Windows XPの場合：

- ①「リムーバブルディスク」内の「Dcim」フォルダを右ボタンでクリックします。
- ②メニューの「コピー」をクリックします。
- ③「スタート」→「マイドキュメント」の順でクリックします。
- ④「マイドキュメント」メニューで「編集」→「貼り付け」の順でクリックします。
－これで「Dcim」フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が「マイドキュメント」フォルダにコピーされます。

重要! ●カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

17. USB接続を終わめます。

■WindowsMe/98/XPの場合：

カメラの【電源ボタン】を押して、緑の【動作確認用ランプ】が消灯したのを確認してから、カメラを取りはずします。

■Windows2000の場合：

パソコン画面上的タスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、カメラを取りはずし、カメラの電源を切ります。

USB接続時のご注意

- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

お持ちのパソコンがMacintoshの場合

Macintoshにファイルを取り込むためには次の手順で操作します。

重要! • Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0では使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3)では、OS標準のUSBドライバが使用できます。

1. カメラとMacintoshをUSBケーブルで接続する。



2. 画像ファイルを見る／コピーする。

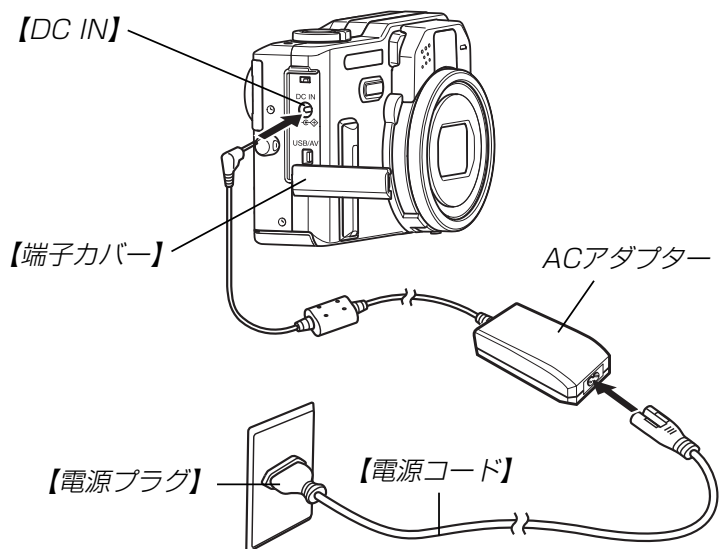
具体的な操作方法は以降に記載されていますので、手順に従って操作してください。また、接続するパソコンの取扱説明書もあわせてお読みください。

重要! • パソコンと通信を行う際、電池残量の少ない電池で本機を使用しますと、画像データを通信中に電源が切れる可能性があります。パソコンとの通信には、専用ACアダプター(別売品)を使用することをおすすめします。

• 内蔵メモリーに保存されているファイルデータをパソコンに転送する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBケーブルを接続してください。

1. 別売の ACアダプターをカメラの【DC IN】と家庭用コンセントに接続します。

- 電池を使用する場合は、電池残量が十分な電池をカメラにセットしてください。



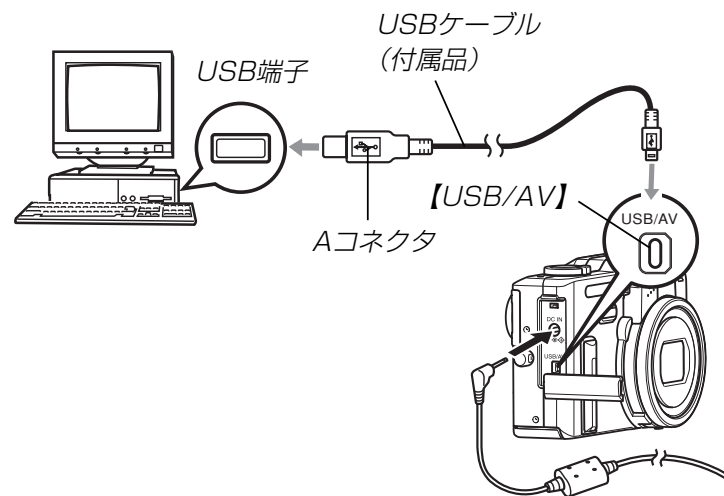
2. カメラの電源を入れます。

- USB接続は、RECモードでもPLAYモードでも可能です。

3. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押します。

4. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押します。

5. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラの【USB/AV】(USB/AV端子)とパソコンのUSB端子を接続します。

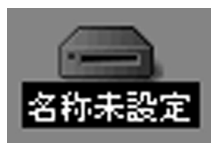


パソコンでファイルを見る

- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されないと、正常に動作しません。

6. カメラの電源を入れます。

- カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーが「ドライブ」として認識されます。
- Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。
- 次回からはMacintoshとカメラをUSBケーブルを介して接続するだけで、カメラ内のメモリーカードや内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。



7. 表示されたドライブ→「DCIM」フォルダ→見たい画像の
入ったフォルダの順でダブルクリックします。

8. 見たい画像ファイルをダブルクリックして、画像を見ま
す。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(178ページ)を参照ください。

参考 • 回転表示させた画像を「ドライブ」から見たりコピーした
場合は、回転させる前の画像が表示されます(130ページ)。

9. ファイルを保存する場合は「DCIM」フォルダを保存した
いフォルダにドラッグアンドドロップします。

- 「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされ
れます。

参考 • ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)
が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスの
ボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させ
て、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作の
ことをいいます。

重要! • カメラ内やメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行わないでください。パソコンで修正、削除、移動、名前の変更などを行った場合は、画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正、削除、移動、名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。

10. USB接続を終えるには、画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップします。その後、カメラをUSBケーブルから取りはずし、カメラの電源を切ります。

USB接続時のご注意

- パソコンのモニターに同一の画像を表示して放置しておくことはお止めください。残像現象(画面焼け)を起す場合があります。
- 通信中にケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

パソコンでいろいろなことができます

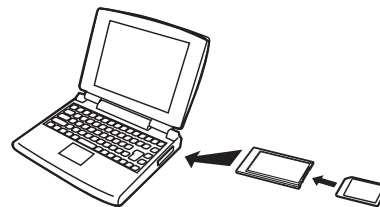
撮影画像をパソコンでさまざまに活用することができます。活用方法については、下記のページを参考にしてください。

- アルバム形式で見たい
.....「アルバム機能を使う」(181ページ)
- アルバム形式で印刷したい
.....「アルバム機能を使う」(181ページ)
- 画像を自動取り込み／管理したい
.....「ソフトをインストールする」(189ページ)を参照して、Photo Loaderをインストールしてください。
- 画像をレタッチ(加工)したい
.....「ソフトをインストールする」(189ページ)を参照して、Photohandsをインストールしてください。

メモリーカードを直接接続して取り込む

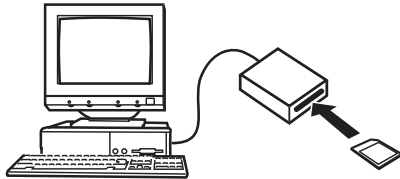
パソコンとのファイルのやりとりをメモリーカードから直接行うことができます。パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。

- SDメモリーカードスロットのある機種
SDメモリーカードを直接差し込みます。
- PCカードスロットのある機種
市販のPCカードアダプター(SDメモリーカード／MMC用)を使用します。
具体的な使用方法是PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

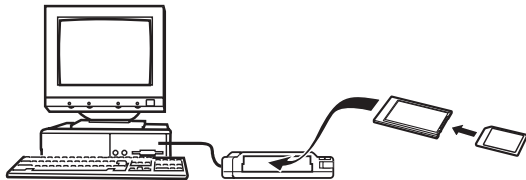


• 前記以外の機種

- 1) 市販のSDメモリーカード用リーダー／ライターを使用します。
具体的な使用方法はSDメモリーカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 2) 市販のPCカード用リーダー／ライターと市販のPCカードアダプター (SDメモリーカード／MMC用) を使用します。
具体的な使用方法はPCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。

**メモリー内のデータについて**

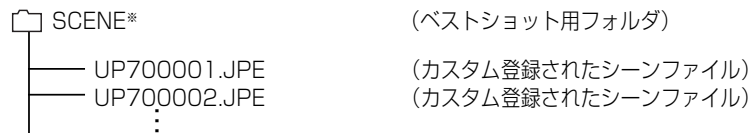
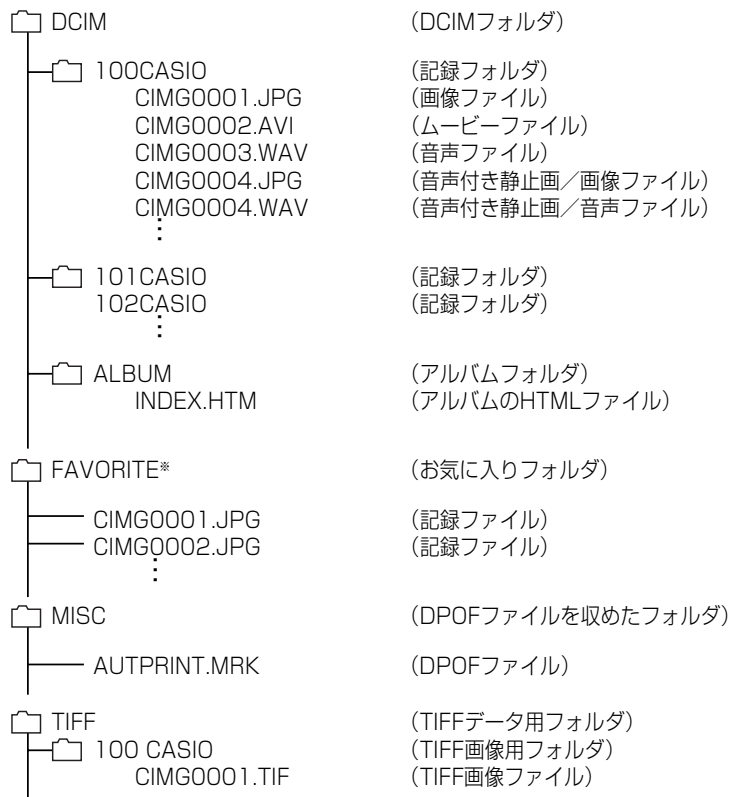
本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。DCF規格とは、画像ファイルと画像に関連するファイルをデジタルカメラと関連機器の間で簡単に交換することを目的とした規格です。

DCF規格について

DCF規格対応の機器 (デジタルカメラやプリンタなど) の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンタで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

メモリー内のフォルダ構造

■フォルダ構造



※ 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

■フォルダ／ファイルの内容

- DCIMフォルダ
デジタルカメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 記録フォルダ
デジタルカメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル
デジタルカメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル
デジタルカメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「AVI」です。
- 音声ファイル
音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画／画像ファイル
音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画／音声ファイル
音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- アルバムフォルダ
アルバム機能で使用するファイルを収めたフォルダです。
- アルバムのHTMLファイル
アルバム機能で使用するファイルです。拡張子は「HTM」です。

- お気に入りフォルダ
お気に入りの画像ファイルを収めたフォルダです。
320×240pixelsの画像として収められています。
- DPOFファイルを収めたフォルダ
DPOFファイルなどを収めたフォルダです。
- TIFFデータ用フォルダ
TIFFデータを収めた親フォルダです。
- TIFF画像用フォルダ
TIFF形式で保存した画像を収めたフォルダです。
- TIFF画像ファイル
TIFF形式で保存した画像ファイルです。拡張子は「TIF」です。
- ベストショット用フォルダ(内蔵メモリーのみ)
カスタム登録されたシーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録されたシーンファイル(内蔵メモリーのみ)
ベストショットモードで使用されるファイルです。

このデジタルカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

※ DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。